



平成30年11月8日

各位

会社名 神鋼鋼線工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤井 晃 二
 (コード番号 5660 東証2部)
 問合せ先 総務本部総務部長 朝見 弘 志
 (TEL. 06-6411-1051)

平成31年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異
 および営業外損失の計上、通期業績予想の修正、配当予想の修正に関するお知らせ

平成30年9月27日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)の連結業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成31年3月期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の連結業績予想および配当予想について、下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成31年第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異について

平成31年3月期第2四半期累計の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成30年9月27日発表)	百万円 14,200	百万円 125	百万円 30	百万円 0	円 銭 0.00
今回発表実績(B)	14,133	202	42	30	5.17
増減額(B-A)	△ 67	77	12	30	
増減率(%)	△ 0.5%	61.7%	40.0%	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	14,192	431	352	256	49.26

平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 通期業績予想の修正について

平成31年3月期連結業績予想値(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成30年5月14日発表)	百万円 30,000	百万円 900	百万円 850	百万円 600	円 銭 101.48
今回修正予想(B)	29,500	800	700	500	86.04
増減額(B-A)	△ 500	△ 100	△ 150	△ 100	
増減率(%)	△ 1.7%	△ 11.1%	△ 17.6%	△ 16.7%	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	28,773	822	703	424	81.56

3. 営業外損失の計上について

第2四半期累計期間において、台風21号の被害金額137百万円を営業外費用として計上しております。通期での被害金額は現在調査中であるため、判明した段階で開示いたします。

4. 業績予想と実績値との差異および通期業績予想修正の理由

第2四半期累計期間の業績は、売上高はほぼ前回予想通りとなりましたが、営業利益につきましては、台風21号に伴う操業停止の影響による生産・出荷遅れの発生があったものの連結子会社がコスト削減に取り組んだ事などもあり、前回予想を上回りました。経常利益につきましては台風21号の被害金額を営業外費用に計上しましたが、営業利益の増加もあり、前回予想を上回りました。

また、通期業績につきましては、台風21号により被害を受けた建屋・生産設備の復旧費用の発生や操業停止に伴う生産・出荷減の影響などにより、平成30年5月14日に公表した通期連結業績予想を変更しました。

5. 配当予想の修正

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成30年5月14日発表)	円 銭 20.00	円 銭 30.00	円 銭 50.00
今回修正予想	-	20.00	40.00
当期実績	20.00	-	-
前期実績(平成30年3月期)	2.00	30.00	-

平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金は「-」と記載しております。

(当該株式併合を踏まえて換算した場合、平成30年3月期の年間配当金の合計は1株につき50円)

6. 配当予想修正の理由

当社は、配当につきましては、経営基盤の強化や将来の事業展開を勘案し、内部留保の充実を図りながら、継続的かつ業績に見合った適正な利益の還元を実施することを基本方針としております。

これに基づき当期の中間配当につきましては、前回発表の通り、1株当たり20円とさせていただくことを本日開催の取締役会で決議いたしました。

一方で当期の期末配当につきましては、上記通期業績予想の修正のとおり通期業績予想が当初予想を下回ることに加えて、将来にわたり災害に強い生産体制の構築に経営資源を振り向けることを勘案して、誠に遺憾ながら期末配当予想につきましては、1株当たり20円(前回予想比△10円)に修正いたしました。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上